

# 金沢市産学連携事業 運営委員会通信

No. 12

令和8年3月発行

金沢市では、金沢市産学連携事業運営委員会を設置し、ものづくり産業の振興と発展のため、地元企業と大学等の高等教育機関との連携による新製品開発、新技術開発、人材育成を推進しています。



## 大学・高専の産学連携に変化の兆し

金沢大学 先端科学・社会共創推進機構 教授

安川 直樹

金沢市産学連携事業運営委員会の委員を拝命しております。金沢大学では産学連携の窓口部署で、産学連携のコーディネート業務を担っております。私は10年以上に渡り、この業務を担っておりますが、ここ2～3年で随分と大学内の雰囲気が変わってきました。その理由は、2022年1月の岸田元総理の「スタートアップ創出元年」宣言を受けて、同年11月に、今後5年間の官民によるスタートアップ集中支援の全体像、いわゆる「スタートアップ育成5か年計画」が取りまとめられたことです。この計画では、スタートアップの企業数の増加、規模の拡大を大きな目標として、様々な支援策が展開されています。

北陸地域においても、2024年2月から北陸地域の13大学・3高専で構成される Tech Startup HOKURIKU (TeSH: テッシュ) というスタートアップ創出プラットフォームが立ち上がりました。ここでは、大学・高専の研究成果を活用した大学・高専発スタートアップ創出に向けた取組が始まっています。この取組から新しい大学・高専発スタートアップがすでに2社起業し、起業準備中の案件も多数存在しています。また、2025年6月には富山県・石川県・福井県が共同で提案した北陸スタートアップエコシステム・コンソーシアム (HOSTEC: ホステック) が内閣府の「NEXT グローバル拠点都市」の選定を受けました。今後、自治体からの後押しも受けつつ、域内の中堅・中小企業とスタートアップ企業のオープンイノベーション(共同での実証実験や協業等)の取組が進んでいくものと思います。さらに、2025年10月には、TeSH のプラットフォームにアントレプレナーシップ教育を推進するための予算が措置されました。急激な社会環境の変化を受容し、新たな価値を生み出していく精神(アントレプレナーシップ)を備え、将来、スタートアップの担い手となる人材が域内で育成されていくことが期待されています。

このように、北陸地域では、これまでどちらかというと消極的であった大学・高専でのスタートアップ創出に向けた活動が一気に活発化しています。今まで見えにくかった大学・高専の研究成果が TeSH 等の活動により整理され、見えやすくなってきていると思います。「研究だけで終わらせない」という教職員・学生の意識改革は、中堅・中小企業の皆様にとって、共通言語で話せるパートナーが増えることを意味します。ぜひ、この機会に大学・高専の研究成果のご活用をご検討くださればと思います。

# 令和7年度の取り組み

## 1. 先端ものづくり技術交流セミナー

オンライン配信での開催により、最新技術の動向を紹介しました。

### ■ デジタルナレッジツインへのアプローチ

第一線の実践者を招き、「ナレッジ(暗黙知)」の最前線を追いかけてながら、ナレッジを使った事例やAIとナレッジをどう活かして知恵を可視化させていくかなどを対談形式も交えて紹介いただきました。



**日 時** 令和7年11月28日(金) 14:00～16:30  
**講 師** 北陸先端科学技術大学院大学 講師 伊集院 幸輝氏  
Cipline 株式会社 代表取締役社長 高橋 勇人氏  
北陸先端科学技術大学院大学 名誉教授 内平 直志氏  
サイバネットシステム株式会社 IoT/XR サービス部 西野 貴志氏

**参加者数** 18名

#### 参加者アンケートより

- ・情報と実践で役に立つ知恵(ナレッジ)の違いがよく分かった。
- ・生成AI以外の部分も工夫次第で取り入れられることが分かった。

## 2. マーケティングセミナー

製品開発や販売を行うためのマーケティングについてのセミナーを開催しました。

### ■ 外部知識を活用したビジネスモデル・イノベーション ～ナレッジスピルオーバーの視点から～

ナレッジを利用した先進的な事例を見ながら、内部知識と外部知識を組み合わせる「価値」を生み出し、会社にあった形式知をどう蓄積していくかを幅広い分野から紹介いただきました。

**日 時** 令和7年10月17日(金) 14:00～15:30  
**講 師** 金沢星稜大学 経済学部 経営学科 教授 博士(知識科学) 村上 統朗氏  
**参加者数** 15名

#### 参加者アンケートより

- ・会社の姿勢をどう変えていくかが重要だと感じた。
- ・暗黙知に出会うための交流をもっと増やしていきたい。



## 3. ものづくり技術交流研修会

優れた技術を持つ企業を訪問し、大学、訪問企業、参加企業の交流を深めました。

工場内の業務効率化・DXをテーマに、紡績機械のほとんどを自社で組み立てている村田機械株式会社加賀工場、VGAを販売しながら自社の工場の自動化に取り組んでいるホクショー株式会社白山工場を見学。製造ロボットが専門である浅川直樹教授と各社がテーマをもとに様々な意見を交わしました。



**日 時** 令和7年12月3日(水) 村田機械株式会社 加賀工場  
令和7年12月11日(木) ホクショー株式会社 白山工場  
**講 師** 金沢大学 設計製造技術研究所 教授 浅川 直樹氏  
**参加者数** 14名(2か所合計)

#### 参加者アンケートより

- ・各社の取り組みを実際に見るチャンスは少なく、勉強になった。
- ・多様な企業が参加することで、更に新たな気付きが生まれると思った。

## 4. デジタル化推進セミナー

市内ものづくり企業のデジタル化を後押しするためのセミナーを開催しました。

### ■ DX技術にもっと×2触れてみよう

DX技術初学者のために、これからのデジタル社会で効果的に利用できる、データ分析、AI、3Dモデリングを各1回ずつ座学とグループワークを織り交ぜながら使い方を学びました。

#### 第1回 データ分析の視点と活用方法 – 観光データを使って分析してみよう! –

データ分析ツールである Tableau を使って、データベースから図やグラフを作成して視覚的にわかりやすくデータを見せ、データ分析の面白さが分かる講演を開催しました。



**日 時** 令和7年9月30日(火) 13:30～16:30  
**講 師** 北陸大学 国際コミュニケーション学部 教授  
学長補佐 和嶋 雄一郎氏

**参加者数** 15名

#### 参加者アンケートより

- ・BIツールは使ってみなかったのが、実際に使えて大変よかった。
- ・理系じゃなくても簡単にデータ分析はできるんだと感じた。

#### 第2回 AI使い方超入門 – AIをあなたの相棒にしよう –

近年話題となっている生成 AI について、簡単な概要やたくさんある AI のなかからケースごとに効果的な AI を講師が紹介し、実際に使い方を体験しました。

**日 時** 令和7年10月28日(火) 13:30～16:30  
**講 師** 北陸大学 国際コミュニケーション学部 教授  
学長補佐 和嶋 雄一郎氏

**参加者数** 14名

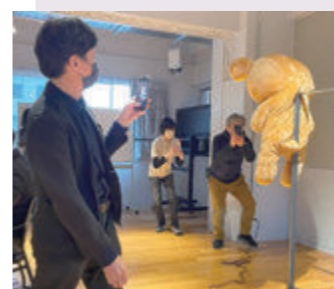
#### 参加者アンケートより

- ・AIをすごさをハンズオンを通して触れることができとても楽しかった。
- ・AIで楽をするのではなく、楽しむものという言葉が印象的だった。



#### 第3回 デジタル化を加速する! スマホで実践する3Dモデリングとビジネス活用戦略

近年スマホを使用することで、手軽にかつ専門的な知識がなくても簡単に3Dモデルを作成し、様々な分野で利用できることを座学で学びながら、実際に対象物を撮影して様々な3Dモデルをグループで作成しました。



**日 時** 令和7年9月30日(火) 13:30～16:30  
**講 師** 北陸大学 経済経営学部 講師 田部田 晋氏  
**参加者数** 6名

#### 参加者アンケートより

- ・現場で利用している機器が高額なので、コストカットも視野に入ると思った。
- ・3Dは縁遠かったが、スマホで実行できると身近に感じた。

# 金沢市における産学連携によるものづくり支援

## ■金沢市新産業成長ビジョンの実践（令和5年度～令和9年度）

社会経済情勢の変化や日々、技術革新が進む最先端技術、地域経済における社会課題を踏まえ、世界に誇る文化をはじめとした金沢の個性を生かし、高い付加価値を生み出す新産業の成長・発展に向けて、本物の価値を高め、創造・変革していくまちをめざし、産学官金の連携のもと、新産業成長ビジョンの様々な施策推進に取り組めます。また、本ビジョンの中間年度にあたる令和7年度、取組方針等について検証を行い、必要な改訂を行いました。

● デジタル関連企業やクリエイターなどを市外から誘致する支援制度を創設

● 市内中小企業の業務効率化及び生産性向上を図るため、AI・DXの導入等を伴走支援するモデル事業を実施

● 大学等と連携し、社会課題の解決をテーマに最先端デジタル技術を活用した新産業の創出につながる事業を実施

● 若者や女性の起業を重点的に支援

● 金沢未来のまち創造館における事業活動を推進

○ スタートアップ・新ビジネスの創出

○ 子供の独創力の育成 ○ 食の価値の創造

○ 海外で活動するスタートアップ、子供たち、料理人との交流

○ 入居者や地域住民との世代間を超えた交流

● 石川県情報システム工業会と連携し、

小学生から大学生までを対象としたデジタル人材を育成する活動を推進

・ 中高生を対象に社会課題を解決するアプリ等の開発やビジネス化に向けたセミナーを開催

・ 小学生を対象とした「金沢ロボ活」、中高生を対象とした「金沢IT部活」を開催

・ IT部活の卒部生や大学生が、IT企業や大学等と連携する

共創プロジェクト「金沢IT部活アカデミーベンチャー」を実施



未来のまち創造館の活動

担当：金沢市 経済局 産業政策課 TEL：076-220-2204 FAX：076-260-7191  
E-mail：sansei@city.kanazawa.lg.jp

## ■新製品開発・改良促進事業

企業が新製品・新技術・新システム等の開発を行う経費の一部を助成します。

新製品等の開発事業については、産学連携コース、単独企業コース、企業連携コースの3種類の補助メニューがあります。また、既存製品を改良する場合の補助もあります。

## ■ものづくりサポートアドバイザー派遣事業

製品開発や生産効率の向上、販路開拓など、各企業が直面する様々な課題に応じて、デザイン、特許、マーケティングなどの分野に精通した専門家を派遣します。

担当：金沢市 経済局 商工労働課 TEL：076-220-2205 FAX：076-260-7191  
E-mail：syokou@city.kanazawa.lg.jp

## ■金沢市産学連携事業運営委員会

事務局

金沢市経済局商工労働課

〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号

TEL 076-220-2205

Email igyousyu@city.kanazawa.lg.jp